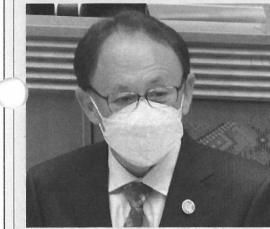




玉城デニー県政を全力で支えていく  
渡久地修県議団長が代表質問(10/11)で表明、知事が決意



玉城デニー知事

一人取  
つ、誰  
を基本  
としつ  
の項目  
の3つ  
問題  
を米  
軍基地  
建設反  
対・米

「県経済と県民生活の再生」、「子ども・若者・女性支援施策のさらなる充実」、「辺野古新基地建設反対」の3つの項目を基本とし、誰一人取り残さない沖縄らしい優しい社会の実現等に向けて全力で県政運営に取り組んでいく。また、辺野古に新基地は造らせないと、辺野古に掘けて当選し、県民からの信任を受けた。1ミリのぶれることなく全身全霊で取り組んでいく。

戦後、戦争の不条理さと残酷さを身をもって体験した沖縄県民は、人権と自治が抑圧された米軍占領下にある中、一人一人の不断の努力と揺るぎない信念を持つ

全ての県民が真に幸福を実感できる平和で豊かな沖縄の実現をめざし、恒久平和へ全身全霊で取り組んで行く



渡久地修県議団長

知事選の結果は、翁長県政、玉城デニー県政の豊かな実績、政治姿勢と政策が高く評価、支持されたもの。今後は、いばらの道があらうとも県民と共に

リもぶれることなく、辺野古新基地は造らせない、普天間基地の閉鎖、撤去、誰一人取り残さない優しい沖縄社会の実現、新建議書の実現へ全力で取り組んでいきたい。77年前の沖縄戦では、本土防衛の捨て石にされ、県民4人に1人を占む20万人余の貴重な命が奪われた。沖縄戦が終わっても沖縄は日本から切り離され、27年間も米軍の軍事占領支配下に置かれてきた。復帰後50年たった今なお、国土面

積の0.6%のこの小さな沖縄に在日米軍専用施設の70.3%もの米軍基地が置かれ続け、戦争に巻き込まれる恐怖、航空機墜落の恐怖におびえ、激しい爆音などにさらされるなど、米軍基地があるがゆえの事件・事故、犯罪などに苦しめられ続けている。沖縄県知事の最大の職責は、沖縄を再び戦場にさせないこと、基地のない平和で豊かな沖縄を目指すことだと思ふ。

沖縄県知事の最大の職責は、沖縄を再び戦場にさせないこと。基地のない平和で豊かな沖縄をめざすこと

玉城デニー県政の期月初の県議会代表質問に、日本共産党からは渡久地修県議団長が立ちました。その要旨を紹介します。



5/20 首里城復元現場調査 5/27 那覇みらい支援学校視察 9/14 末吉町河川の改修と伐採交渉 9/27 沖縄県酪農組合と意見交換  
11/1 儀保交差点歩道改修交渉 11/3 首里城木曳式 11/3 首里城起工式 10/30~11/3 世界のワチナーユメ会  
11/5 辺野古調査と集会 11/9 与県議団で統合演習反対を県に要請 11/11 統合演習中止を防衛局に要請 11/12 ひめゆり平和記念資料館を視察

**春闘の後押しに** 4/13  
記者席  
〇…公共事業などでの賃金水準などを定める「公契約条例」の見直しを訴える渡久地修県議(共産)。「労務費の5~6割しか、末端には支払われていない」と指摘し、受注者に給与の支払い実績報告を求め、その実績を入札での評価に反映する仕組みを提案する。この提案は2月定例会では土木建築部長から前向きな答弁を得たとして、手応えを感じている。折しも今は春闘の時期。「この動きが労働条件改善を求める労働者の後押しにもなれば」と力を込めた。

**記者のメモ** 6/12  
沖縄の民意 海外に訴え  
記者席  
〇…沖縄の日本復帰50年に合わせて取材に訪れたドイツメディアの取材を受けた渡久地修県議(共産、那覇市・南部離島区)。今も米軍基地が集中する現状に「県民投票で7割以上が辺野古反対の意思を示したが日本政府は無視している」として、海外に発信した。実際の記事を読み「沖縄の理不尽な状況に国際的にも注目が集まっている。この記事がその一つの形ではないか」と感想。一方で記事では「素敵な年配の紳士」と紹介されていたが「年配だけじゃないなあ」とのぼやきも。

**監督と監視** 7/6  
記者席  
〇…県内専修学校での教員不足について「(学校が)正常に戻るようしっかりと取り組んでほしい」と県議会で当局に迫った渡久地修氏(共産)。宮城力総務部長から「学生の不安払拭(ふっしょく)が重要で、看過できない。重大な関心を持って対応したい」と答弁を引き出すも「県は監督官庁だ。関心を持っている」ではなく、責任を持って対応を」と念を押した。学校の監督をする県の立場を問いつつ、自身も行政を監視する県議の立場を再確認した様子。

**記者のメモ** 教育で水難事故を防止  
〇…水難事故対応について議論した県議会総務企画委員会で「学校教育がとてども大事だ」と訴えた渡久地修県議(共産、那覇市・南部離島区)。復帰当時、学校プールの整備率が低く沖縄は泳げない子どもが多かった時期があったと指摘。その課題は解消されたが「大事なのは着衣泳。洋服を着たまま水中で待たず、濡れないようにする訓練が重要だ」と訴えた。水難救助対応の関係者からも、非常に大事な点だと賛同を得た。政界の泳ぎ方を知るベテラン政治家だけに、説得力は十分だった? 4/15

**記者のメモ** 9/13  
歴史を後世に折衝に汗  
〇…第3軍司令部壕の現存する唯一の坑口である第5坑口周辺の土地取得のため、県が9月議会に向け補正予算を組む方針を喜ぶ渡久地修県議(共産、那覇市・南部離島区)。「沖縄戦の実相を後世に伝えるため戦跡の保存は重要だ」と地元首里の懸案解決に向けて県当局への折衝に汗をかいた。本年度に御茶屋跡の復元に向けた調査費が付いたことにも「復元は琉球王国の歴史遺産を後世に伝えるために重要な課題」と評価。沖縄の歴史を風化させまいと、9月議会を待ち切れない様子だった。

**「有事に備える議論」に憂慮**  
記者席  
〇…中国人民解放軍による軍事演習に憂慮する渡久地修氏(共産)。軍事演習の際、嘉手納基地では軍用機の離着陸が活発化したとして「台湾有事の際は嘉手納基地から出撃するという狂想だ。沖縄が巻き込まれる危険性を示した」と懸念する。国民保護計画の策定や同計画の実効性も取りざたされているが「攻撃されたらどうするかではなく、絶対戦争をさせないためにどうするかに力を入れない」と指摘。「有事に備える」議論が高まる現状を憂慮した。8/10

**とぐち修事務所生活相談**  
火・木・土の3時~6時  
電話予約をお願いします



10/11 日本共産党代表質問

## PFAS 汚染と米軍基地立入調査

【渡久地修県議】沖縄県生活環境保全条例は、14 年前に提案されたときに、米軍基地も対象に入れるべきだと我が党は修正案を提案した。2回の継続審議を経て米軍に「立ち入り調査を求めるものとする」等の条文を全会一致で追加し可決した。県条例、県議会の付帯決議に基づき、PFAS 汚染の米軍基地立入調査を毅然として求めるべきだ。

【玉城デニー知事】条例に対する諸手続、議会における議決を最大限尊重し、今後日米両政府、関係要路に対してはこの条例にも基づく内容であると強く申入れを続けていきたい。



## 沖縄を戦場にさせてはならない

【渡久地修県議】台湾有事だと米軍が介入すれば、沖縄が再び戦争に巻き込まれるのではないか。先島の自衛隊ミサイル基地の撤去を求めるべきだ。

【知事公室長】沖縄の米軍基地の整理縮小、返還を求めているところに自衛隊の配備増強が重なると、県民としては不安を抱かざるをえない。配備スケジュールありきで物事を進めることがないよう求めきた。

## 沖縄を平和の架け橋に

【渡久地修県議】東アジアの平和の架け橋にするためにも、ASEAN 関連の会議等を沖縄に誘致を。

【玉城デニー知事】沖縄を平和の発信拠点とする考え方から、国連関連機関、国際関連機関等について誘致を積極的に検討していきたい。



## 戦没者の遺骨の混じった土砂について

【渡久地修県議】辺野古埋立に戦没者の遺骨の混じった土砂を使わせてはならない。

【土木部長】県の処分が不承認となったことから、沖縄本島南部の土砂が埋立てに用いられることはないものと考えている。

【渡久地修県議】戦跡区域の自然公園法の区域指定の見直しを。

【環境部長】南部地区の同公園等の区域の見直しに着手した。



## 学校給食の無償化を

【渡久地修県議】学校給食を無償化すべきだ。

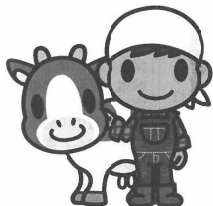


【教育長】現在、30 の市町村において全額または一部助成が行われている。市町村の実施状況や他都道府県の動向など、情報収集に努めていきたい。

## 観光産業への支援強化を

【渡久地修県議】観光が再開されたが、回復への支援の強化が必要だ。

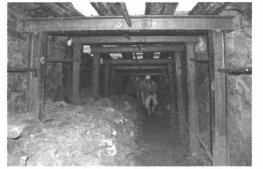
【文化観光スポーツ部長】赤字の観光事業者に最大 600 万円を補助する経営改善サポート、県独自の事業者復活支援金の給付、人材確保に向けた観光業界のイメージ向上、おきなわ彩発見キャンペーンNEXT等の切れ目のない需要喚起策並びに沖縄県観光振興基金の弾力的な活用による施策の推進などに引き続き取り組んで行く。



## 旧日本軍 32 軍壕 第 5 坑口周辺の土地取得予算が可決

【渡久地修県議】第 5 坑口周辺の土地取得後速やかに公開を。第 1 坑口の調査と保存公開計画を早期に策定を。

【子ども生活福祉部長】取得後、安全対策を講じながら早期公開に取り組む。第 1 坑口・坑道の調査を開始した。保存公開について今年度中に有識者委員会から知事に提言の予定。



2009 年 6 月の壕調査

## 普天間基地の閉鎖撤去、新基地反対を

【渡久地修県議】普天間基地の運用停止、早期閉鎖・撤去を政府に強く求めるべきだ。県民の民意を踏みにじて新基地建設を強行している政府こそ不当ではないか。

【知事公室長】辺野古が唯一の解決策との固定観念にとられることなく、普天間飛行場の一日も早い危険性の除去、県外、国外移設及び早期閉鎖・返還に取り組んでいただきたい。辺野古新基地建設を強行し続ける政府の姿勢は到底容認できるものではなく、政府は、県民の声に耳を傾け、辺野古新基地建設を断念すべきである。



## 基地と振興策はリンクさせるな

【渡久地修県議】辺野古新基地建設に反対しているからといって予算を削減することは許されない。

【企画部長】復帰時の沖縄国会で「県民への償いの心をもって事に当たるべきである」との考えが示された。沖縄振興策と米軍基地間題がリンクすることはあってはならない。



## 酪農家への支援を

【渡久地修県議】県の支援策が一刻も早く酪農家へ届くようにし、飼料高騰対策と自給飼料生産の取組、学校給食用生乳の夏休み時などの余剰乳対策、畜舎の電気代の補助も検討すべきだ。

【農林水産部長】農家への説明会を実施した。迅速に手続を進める。粗飼料購入費用への補助、全畜種を対象に配合飼料価格安定制度における農家負担分への補助を実施する。自給飼料生産への取組は、原野や耕作放棄地等の再生による牧草の生産拡大に努めている。生乳は、県外出荷に係る農林水産物条件不利性解消事業の補助対象品目となっており、沖縄県酪農農業協同組合など関係団体と情報共有を行い、調整を図っている。御提案の太陽光パネルの設置や暑熱対策に必要な器具・機材の導入についても検討していく。

## 就学援助制度の周知徹底を

【渡久地修県議】就学援助制度の対象とならないと思い込んでいる保護者への周知徹底を。

【教育長】援助の対象でありながら何らかの理由で申請できていない世帯があることから、周知内容や申請手続に工夫の余地がある。



## 靈感商法の被害について

【渡久地修県議】靈感商法の被害の相談は。

【子ども生活福祉部長】2012 年度から 21 年度の 10 年間で、県消費生活センターが受け付けた、いわゆる靈感商法と思われる相談は 36 件。主な内容は、印鑑購入、占い・祈禱サービス。金額は、3000 円から数千万円となっている。